

PcAnywhere における Windows®XP SP2 の対応について

1. はじめに

GCsolution と GCMSsolution に含まれている pcAnywhere は、symantec（シマンテック）社の製品であり、WindowsXP SP2 の対応については、symantec（シマンテック）社にご確認ください。

ここでは、当社で確認した GCsolution を pcAnywhere で他の PC より操作する際に発生する問題と対応方法の一例を記載します。

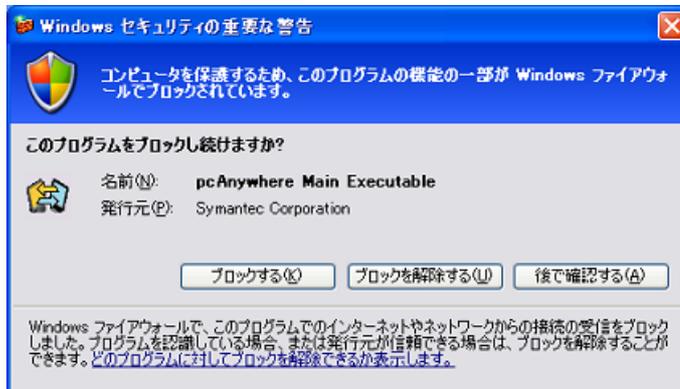
本内容は参考情報であり、pcAnywhere の動作を保証するものではありません。

また、以下の対応方法をご使用の PC のセキュリティに関する機能を一部解除するものですので、実施については、必ずご使用になられる部門や事業所のネットワーク管理部門または担当者にご相談いただきますようお願いいたします。

2. WindowsXP SP2 インストールにより発生する問題と対応方法の一例

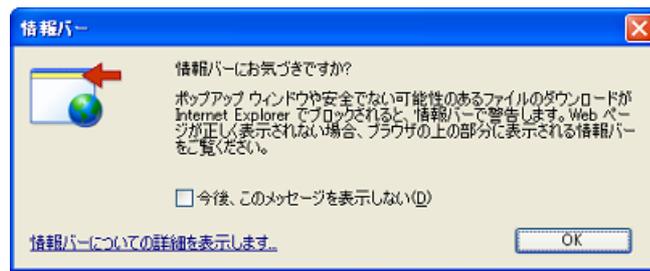
GCsolution を pcAnywhere で他の PC より操作する際に以下の 3 つの問題を確認しています。

①サーバー側で pAnywhere 起動時に、次のメッセージが表示されリモート接続できなくなります。



ここで「ブロックを解除する」ボタンを押すと接続が可能となります。

- ②クライアント側で pcAnywhere Express のスタートメニューから、” ActiveX Control” を選択して使用すると、起動時に次のメッセージが表示され、サーバーに接続できなくなります。

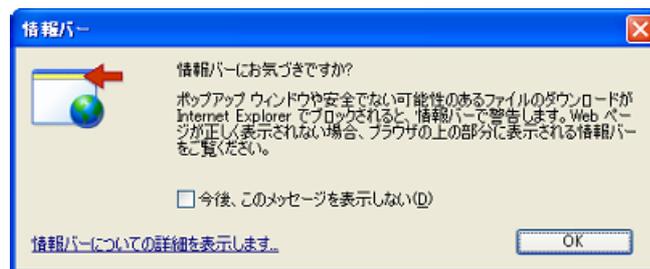


情報バーで「ブロックされているコンテンツの許可」を選択すると以下のメッセージが表示されます。



ここで、「はい」ボタンを押すと使用可能となります。

- ③クライアント側で pcAnywhere Express のスタートメニューから、” Java Client” を選択して使用すると、起動時に次のメッセージが表示され、サーバーに接続できなくなります。



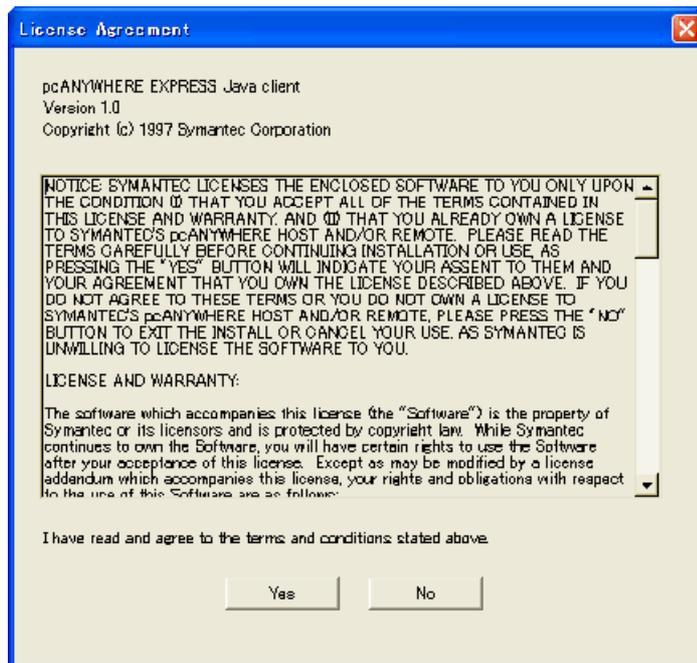
情報バーで「ブロックされているコンテンツの許可」を選択すると以下のメッセージが表示されますので、「はい」ボタンを押します。



以下のメッセージが表示されますので、「実行する」ボタンを押します。



以下のウィンドが表示されますので、「Yes」を押すと接続が可能となります。



以上。